

中日会報

公益社団法人 中部日本書道会
 編集事務局 名古屋市
 〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45-19
 桑山ビル8階C号 室番
 電話 (583) 19000
 F A X (583) 1910番
<http://www.cn-sho.or.jp>
info@cn-sho.or.jp
 印刷 株式会社 荒川印刷

名誉会長あいさつ

— 祝賀懇談会祝辞より —

名誉会長 海部俊樹



会員のみなさん、本日は誠にありがとうございます。中日書道展のご入賞、ご入選、また樽本樹郎先生には東海テレビ文化賞ご受賞、安藤滴水先生には愛知県教育文化功労者表彰ご受賞、心からお慶び申し上げます。日頃のご努力、ご研鑽の結果であると思います。また、本日ここに臨席いただきましたご来賓の方々にも篤くお礼を申し上げます。ほんとうに有難うございます。

昨年の六月から、関根玉振理事長のもと新体制で行事がスタートしています。フレッシュな役員のみなさんが関根理事長を支え、もり立てて書道展を始めとして様々な行事に取り組んでいただいていることと思います。ますます充実したものになるよう期待しております。

さて、私ごとではございますが、満八十七歳になりました。本日は、昨年と同様に八十八歳のご長寿のお祝いのかたも元気にご出席いただいていると伺っています。ま



樽本樹郎名誉会長代行による
会長祝辞代読

まだまだ私も負けてはいられない、政界をしつかりと見ていかななくては、と思っております。

さて、日本の書道は、世界に誇るべき文化であります。書道のみなさんは一生懸命学んでおられます。そして、そのことに加えて、日本の書道文化を、後世にまで伝え、発展させることも、また大切なことであります。そのために「世界無形文化遺産」の登録をめざしてユネスコへの働きかけを進めております。皆様方には、是非ともご理解とお力添えをいただきたくお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

理事長あいさつ



理事長
関根玉振

盛夏の候、会員の皆様には、恙無くご活躍のことと拝察致します。

先日、第六十八回中日書道展、そして併催されました「愛知県・江蘇省友好書道展」に於きましては、皆様方のお陰で、無事終了することが出来ましたこと、心より御礼申し上げます。

本年度は、都合により通常と異なる展覧会場となり戸惑いも有りましたが、諸先輩並びに役員、会員、協賛会員の皆様が「一致団結」して運営・事業推進を行った結果、無事に終了出来ましたこと、心より感謝申し上げます。長年に亘り育まれた、叡智と伝統を継承し、守ってまいりました中日書道会ならではのことに感じました。

さて、第六十八回中日書道展に於いて、入賞の榮に浴されました皆様方、誠にありがとうございます。しかし、残念ながら今一步のところでは願いが叶わなかった方もお多いことと思っております。そうした悲喜もごもの思いを巡らす入賞結果ではありませんが、心を込めて書かれた作品への努力は、間違いなくご自身の中に、一つ一つ蓄積され、花開くための、大切な素養と成っております。

目次

- 21 名誉会長あいさつ・理事長あいさつ
平成三十年度 総会・本会功労者表彰
第六十八回中日書道展入賞・入選者
樽本樹郎名誉会長代行 第四十九回東海テレビ文化賞受賞
安藤滴水名誉副会長 第六十九回愛知県教育文化功労者表彰
平成三十年度 功労者・感謝状・長寿者表彰
祝賀懇談会ご来賓出席者名簿
【愛知県・江蘇省友好書道展・交流昼食会】開催
第六十八回中日書道展概要
第六十八回中日書道展を觀て
技法と表現の均衡
名誉顧問 西嶋慎一先生評
- 8 「中部の書」の象徴を見る
名誉顧問 田宮文平先生評
第六十八回中日書道展審査総評
受賞者紹介 海部俊樹賞・大賞・準大賞
中日賞・桜花賞寸評
その他の入賞者名
第六十八回中日書道展当番審査員
第六十八回中日書道展を終えて
平成三十年度第一回理事会・総会開催
平成三十年度総会議案書（抜粋）
平成三十年度公開講座のご案内

団体署名実施協力中
つなごう日本の書道文化
ユネスコの無形文化遺産に

日本書道ユネスコ登録推進協議会

平成30年度 総会・本会功労者表彰

第68回中日書道展入賞・入選者

樽本樹邨名誉会長代行 第49回東海テレビ文化賞受賞

安藤滴水名誉副会長 第69回愛知県教育文化功労者表彰

祝賀懇談会を開催して

厚生部長 古川昇史

平成三十年六月二十四日(日)、ホテルナゴヤキャッスル天空の間に於いて平成三十年度総会、第六十八回中日書道展祝賀懇談会が開催されました。

開会の前に演奏された、弦楽三重奏(ヴァイオリン・ピオラ・チェロ)の美しい調べの余韻の中で、松下英風副理事長の開会の言葉で盛大なる祝宴が始まりました。

最初にご都合で欠席されました海部俊樹名誉会長よりのお祝いのメッセージを、樽本樹邨名誉会長代行が代読されました。「日本の書道は世界に誇る文化です。後世に伝え、発展させるために世界無形文化遺産の登録をめざしており、みなさんのご理解とご協力をお願いしたい。」とのお言葉を賜りました。

続いて、来賓の皆様を代表して、愛知芸術文化センター総長神田真秋様より、「中日書道会の先

生方を中心とする日本の書の作品は堂々として、日本の精神がひしひしと伝わってくる。」とのお言葉を戴きました。次に、中日新聞社常任顧問小山勇様より、「日中合同書展のような民間が中心となった文化交流を継続していくことが大切である。若い人が中心となって書道芸術を伝えていってほしい。」又書道文化研究家の西嶋慎一様よりは、「書道は日本の文化の心である。ここに在るみなさんには、自分の日々の歩みに自信をもって大いに書道文化が日本の社会に存在するよう努めていただきたい。」とのそれぞれ熱いお言葉を戴きました。

続いて、来賓のご出席者二十名のご紹介の後、この度第四十九回東海テレビ文化賞を受賞された樽本樹邨名誉会長代行に、東海テレビ放送取締役事業局長山口貢様より花束と記念品が贈呈

されました。第六十九回愛知県教育文化功労者表彰されました安藤滴水名誉副会長に神田真秋様より花束と記念品が贈呈されました。そして、東海テレビ放送山口貢様の乾杯のご発声で祝宴が始まりました。

この後、米寿を迎えられました四名の皆さんに、樽本樹邨名誉会長代行よりお花と記念品が贈られました。ご健康で益々のご活躍をお祈り致します。

二時間余の宴も、伊藤仙游副理事長の閉会の辞により、九一九名のご出席を頂きました祝賀懇談会を盛大なうちに無事終えることが出来ましたこと、心より御礼申し上げます。今後共よろしくお願い申し上げます。



愛知県芸術文化センター総長 神田真秋様ご祝辞



中日新聞社 常任顧問 小山勇様ご祝辞



書道文化研究家 西嶋慎一様ご祝辞



弦楽三重奏



祝賀懇談会風景

改組新第五回 日展 審査員

理事 **梶山夏舟先生**
(新審査員)

新名誉顧問

愛知県芸術文化センター
センター長
名古屋博物館館長

大参 澄夫氏
三芳 研二氏



第六十九回
愛知県教育文化
功勞者表彰
名誉副会長
安藤滴水先生



第四十九回
東海テレビ文化賞
ご受賞
名誉会長代行
樽本樹邨先生

平成三十年度
功勞者・感謝状・長寿者表彰

功勞者表彰

理事長退任
常任顧問 伊藤 昌石氏

副理事長退任
常任顧問 松永 清石氏

物故者
常任顧問 黒野 清宇氏
常任顧問 中島 藍川氏



平成30年度 功勞者表彰

感謝状表彰

理事退任
顧問 上田 賦草氏
顧問 近藤 浩平氏
顧問 佐藤 慶雲氏
顧問 富田 栄楽氏
顧問 中野 玉英氏

部長退任
前厚生部長 小島 瑞柳氏
前第二会費部長 山田 杏華氏

支部長退任
前一宮支部長 岩田 潤流氏
前岐阜支部長 林 玲玉氏



ご長寿お祝 顕彰者の皆様

ご長寿お祝い顕彰者
(出席者のみ)

平成二十九年度中に八十八歳になられた方々

評議員 河合 桂舟氏
評議員 野々垣清城氏
評議員 本田 秀岳氏
準会員 飯田 楽舟氏

祝賀懇談会ご来賓出席者名簿

税金	司法書士	谷田義弘様	東海テレビ放送事業局長	加藤昭宏様	東海テレビ放送事業局長	山口 貢様	中日新聞社	山田雄一様	中日新聞社	後藤基夫様	中日新聞社	井戸義郎様	中日新聞社	佐竹裕幸様	中日新聞社	尾久充弘様	中日新聞社	寺尾晶子様	中日新聞社	小河敦史様	中日新聞社	加藤宏幸様	徳川美術館学芸部長	四辻秀紀様	徳川美術館学芸部長	太田宏次様	徳川美術館学芸部長	鷺見 卓様	徳川美術館学芸部長	江崎鐵磨様	徳川美術館学芸部長	近藤昭一様	徳川美術館学芸部長	小山 勇様	徳川美術館学芸部長	西嶋慎一様	徳川美術館学芸部長	神田真秋様
----	------	-------	-------------	-------	-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

(順不同)

『愛知県・江蘇省友好書道展・交流昼食会』開催

事務局長 大池 青 岑

事務局長 大池 青 岑

大村秀章愛知県知事の肝煎で企画された「愛知県・江蘇省友好書道展」が、六月十九日から二十四日、電気文化会館において中日書道展と会場を同じくして開催されました。昨秋中国南京市で開催された書道展を愛知県でもと、中国作品六十点、日本側作品六十点、それに県内の子供たちによる八つ切り作品六十点を加え総計百八十点の展観となりました。

梅雨空のもと、初日の午前十時三十分から始まった開会式では、主催者側として大村秀章知事、神田真秋国際交流協会会長、

樽本樹邨本会名誉会長代行、風岡五城東海書道藝術院会長、そして来賓として鈴木喜博愛知県議会副議長、鄧偉在名古屋総領事館総領事、奥村悠二日中友好愛知県議員連盟会長、片桐清高愛知県政功労者協会会長、来日の孫曉雲江蘇省美術館名誉館長、李嘯江蘇省美術館副館長、孫艷江蘇省美術館財務部主任の列席のもと、本会からの出品者および会員など会場入り口を埋め尽くしました。大村知事、孫曉雲氏、鈴木副議長、鄧総領事のあいさつの後、司会から展覧会の案内と祝電披露があり、列席の十名によるテープカットがありました。

ありました。

続いてホテルナゴヤ

キャッスルに移動し、愛

知県の関係者、書道展出

品者など百八名の参加

による交流会が行われ



ました。鬼頭翔雲本会名誉副会長、風岡東書藝会長、李副館長の挨拶があり、孫名誉館長から「書道千穂」の作品贈呈が行われました。大村知事による乾杯があり、一時間ほど歓談の後、中国側二名（孫名誉館長は「書以載道」、李副館長は「臥石聽泉」と「金聲玉振」、日本側二名（安藤本会名誉副会長は自詠の句「墨の香に」、安藤清舟東書藝副会長は「和氣満堂」）による席上揮毫が行われ交流会の幕を閉じました。書道を通じての日中友好交流が成功裏に実現されました。



大村秀章愛知県知事挨拶



友好書道展風景



樽本樹邨名誉会長代行によるテープカット

愛知県・江蘇省友好交流昼食会挨拶

名誉副会長 鬼頭翔雲

尊敬する孫曉雲先生、尊敬する李嘯先生、尊敬する孫艶先生、そして親愛なるご在席の皆様、「愛知県・江蘇省友好書道展」〈愛知県展〉の開催にあたり中日書道会を代表してご挨拶を申し上げます。

この友好書道展は日中平和友好条約締結四〇周年を記念して開催されるものであります。中国展は既に昨年十一月に江蘇省南京市で開催されました。その際には私共、中日書道会から六十五名の会員が開幕式に参加致しました。式典そして交流会では熱烈歓迎、そして、心温まる「おもてなし」を受けました。本当に有難うございました。

本日開催初日を迎えましたこの友好書道展会場では本会主催の第六十八回中日書道展が併せて開催されており、三会場を使用し、四〇〇〇点を上回る作品が展覧されております。

私共、中日書道会は二〇〇五年に開催された日本・愛知万博において「世界のSho・日本の書」と銘打って、中国・韓国・日本の三国で合同書展を開催致しました。

更に本会では二〇一四年、創立八〇周年を記念し、「いっしょSHO懸命・楽しい書！」

と銘打ってこの名古屋市において大々的に「書の祭典」を行いました。

IT化が加速しておる現代、文字を書くという所作が減少してきており、私どもは、これらの諸行事を通じて書の魅力、書の意義、書の重要性を社会に発信して参りました。

本日は書道源流の地、中国からお客様をお招きしての催しでありまして、意義も一層深いものとなりました。

これを機会に、世々代々にわたる友好の促進と、芸術文化の一層の交流を心から願うものでございます。

孫曉雲先生、李嘯先生、孫艶先生には日本の初夏をお楽しみください。そして、一層の御活躍と御健勝、御多幸をご祈念申し上げます。

終わりにのぞみ、この度の友好書道展・中国展と愛知県展の企画から運営まで格別の御尽力を賜りました愛知県・江蘇省書道展実行委員会事務局の皆様衷心より厚く御礼申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

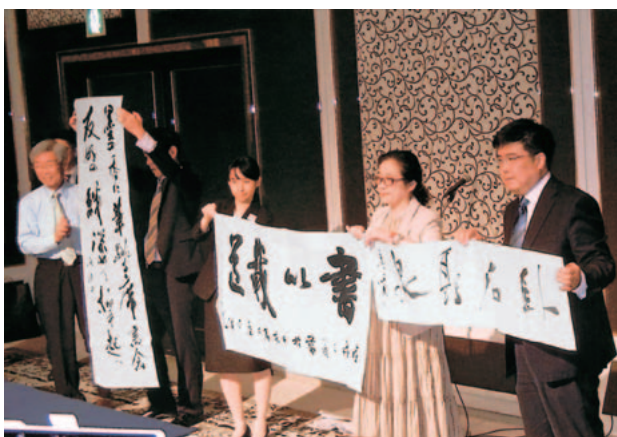
誠にありがとうございました。謝々。



昼食会風景



鬼頭翔雲名誉副会長昼食会挨拶



席上揮毫作品



安藤滴水名誉副会長による交流揮毫